

第二次佐久市総合計画
後期基本計画策定に関する
子育て世代インタビュー
報告書



快適健康都市
佐久市

令和3年3月
佐久市

目次

| | |
|------------------------|---|
| 第1章 実施概要 | 1 |
| 1. 目的 | 1 |
| 2. 調査方法 | 1 |
| 第2章 調査結果 | 2 |
| 1. まちづくりに関する事項 | 2 |
| 2. 子育て施策各論に関する事項 | 4 |
| 参考資料 調査票 | 6 |

第1章 実施概要

1. 目的

第二次佐久市総合計画後期基本計画の策定にあたり、今後の取組等の検討の参考とするため、子育て世代インタビューを実施する。「子育て世代にとって住みやすいまちとはどんなまち？」をメインテーマに、現在の佐久市に対する考えや、子育て世代が重視する要素などをうかがい、若い世代のニーズにこたえる魅力あるまちづくりに資する施策の企画・立案へ生かしていく。

また、子育て支援に関する要望等を合わせて把握する。

2. 調査方法

佐久市保育園保護者会連合会役員を対象とした、対面によるインタビュー。インタビュー時間は2時間程度。

第2章 調査結果

1. まちづくりに関する事項

| | |
|------|--|
| Q1-1 | <p>暮らしていく”まち”を選ぶとき、大切にしていることは何でしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕事が自営業（3代目）のため、地域の人と接する機会が多く、人とのつながりが大事。 ● 出身が北御牧だったので、小さいころから知っているまちで、住んでも良いまちだと感じている。 ● 高速 I.C や駅などへの距離を考慮した利便性。 ● 医療・介護施設が整っている。（両親を呼び寄せるうえで） |
| Q1-2 | <p>佐久市に住む理由は何でしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕事上でも人とのつながりが良い。 ● 仕事の関係で長野県内を転々としたが、他の住んだ所と比較しても佐久市は住みやすい。 ● 出ていく理由もなく、住みやすかった。 |
| Q1-3 | <p>佐久市はどんなまちでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鯉が有名。天気が良い。軽井沢に負けている。ウインタースポーツができる。 ● 晴天率が高い。出身地の埼玉と比較すると夏は涼しい。近所づきあいも良い。 ● 軽井沢町より少し田舎で良い。晴天率が高い。 ● 災害が少ない。治安が良い。 ● 生活の不便が無く静かで暮らしやすい。 |
| Q1-4 | <p>子育て中の方にとって佐久市の住み心地はどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然や公園が多く、お宮にも遊具があり、のびのび育児ができて不便はない。 ● 医療が整っており、安心して病院に通える。 ● 育児サポートも整っており、子育てがしやすい。 ● 仕事帰りに買い物もすぐに行け、商業施設も不便がない。 ● 近所づきあいも近すぎずちょうど良い。 ● 見守り隊の人がボランティアで出てくれており、子どもの通学に安心できる。 ● 望月の商店街に住んでおり、家同士の距離が近すぎるといった難点はあるが、中心部なので便利。佐久平も近く、出身地より便利。 ● 地域内の連携があり、安心して子育てができる。 ● 病院について、子どもの緊急時に佐久平まで出るのが大変。 ● コスモタワーや公園も充実しており、子どもの遊ぶ場所の選択肢が多い。子どもが飽きない。 |

| | |
|------|--|
| Q1-5 | <p>子育てしやすいまちの指標は何でしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 助け合いのできる人間関係。 ● 病院、公園など ● 隣近所の顔の見えるお付き合い。 ● 子ども医療定額化。無料になればさらに良い。 |
| その他 | <p>都会と比較して、交通が不便という声があるがどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車や免許を持っていないと不便と感じると思う。 ● 電車の本数やバスの本数が少ないという事実はある。 ● 子どもの通学距離が長くなるのは不安。 ● 遠くへの通勤は、不便を感じることもある。 ● 今まで交通の便が良かった所に居たことがないのでわからない。 ● 公共交通を使っていないからわからない。 ● 高齢者のタクシー利用率が高い。 |
| その他 | <p>都会と比較して、教育について学ぶ機会が限定されてしまうという声があるがどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICT を活用すれば、教育に問題はないのでは。 ● 英会話塾などもできてきており、教育への問題は感じていないが、マンモス校に通っているという不安がある。（教師の目が届かずにいじめの可能性はあるなど） ● マンモス校に通っている不安（もう少し頑張ればできることも人数が多いためないがしるにされていないか。） ● 学習のペースが昔より遅れていないか。 ● 人数が減少している学校は、部活動が減少し、子どもの選択肢が少なくなっている。 |

2. 子育て施策各論に関する事項

| | |
|------|---|
| Q2-1 | <p>利用している子育て施策は何ですか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 延長保育。 ● あまり施策のことを知らなかった。妻が利用しているものがほかにあるかもしれない。 ● 延長保育。乳幼児全戸訪問。産後サポート。 ● 延長保育、子育てパスポート。 ● 延長保育、放課後児童健全育成事業、子育てサロン、乳幼児全戸訪問事業。 ● 子育てパスポート。他の施策は知らない。 |
| Q2-2 | <p>出産しやすい環境づくりには、どのような支援があったらいいと思いますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産後サポートの充実。頼れる者が居ない時のサポートがもっと必要。 ● 不妊治療者への金銭的支援。 ● おむつ支援など。 ● 子どもを連れていかれない時に子どもを預けられるサービス。（近所付き合いが良いので、近所の方に預かってもらうなどの対応をしている） ● 出産時に出産状況により医療保険制度の補助以上の費用が掛かった時に自己負担が発生。出産費用が平等になる支援。 ● 県外からの転入者も増加しているため、両親からのサポートが得られない人に出産後の新生児期に母親に家事全般サポートがあると助かる。新生児の相手で疲労困憊でいっぱいになっている。 ● 出産祝い金。 |
| Q2-3 | <p>子育て施策への評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが多くいることで受けられるメリットが増えると良い。多子世帯応援プレミアムパスポートあるが、通常の子育てパスポートの優待とメリットが特に変わらない。他市町村にない予防接種の助成があるのが良い。 ● 乳幼児全戸訪問事業は良かった。 |
| Q2-4 | <p>子育てにおける課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 求職活動をすると子どもが小さいという理由で不利に扱われる。 ● 子どもの定期検診受診時に兄弟で小さい子が居ると一緒に連れて行くのが大変で、かつ、連れて行っても定期検診を受けない子を見てくれる保育士の数が少数で預けられずに大変だった。 ● 子育てサークルに検診の際に声掛けされて入ったので、悩み相談ができた。月1～2回のサークルで、講師を招いたり、子どもと一緒にできる産後ストレッチや情報交換などを実施したのは有意義だった。 ● 地域がら、緊急医等がなく、急な子どもの体調変化の時に不安がある。 |

| | |
|------|--|
| Q2-5 | <p>歩道、公園、広場や公共建物において、子育て世代が利用しやすい空間となるよう、どのような配慮や環境が必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩道に狭いところがあり、危険を感じる。 ● 横断歩道に車が侵入する際にドライバーが気を付けられる目印があれば良いのでは。 ● 地域単位でみたときに病院が不足している地域に町医者などの開業支援があれば良い。 ● 公園の多目的トイレ、子ども用の便座があると良い。 ● 小学生以下限定の遊び場があると小さい子が安心して遊べる。 ● 死角のない公園。（不審者が多い） ● 子どもが自分で遊びを考える、ただ広い公園もあればうれしい。 ● 天候が悪いときに遊べる場所が、子ども未来館以外にもあれば良い。 |
| Q2-6 | <p>佐久市が出産や子育てをしやすいまちにしていくために、必要な取り組みやご提案がありましたら教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕事と育児の両立や職場の理解。子どもが病気になった時など、何日にもわたって子どものために休みづらい。 ● 高校以上に進学するときの金銭的支援。 ● 悩みを相談できるサークルなどの話せる場の提供。（他県から転居してくる人も増えている） ● 児童手当の充実。妊娠中の者が保育園を申し込んだら断られうつっぽくなったという話を聞いた。窓口での対応一つで印象が変わってしまうので、温かい対応を。 ● 出産費用が病院によって違いすぎる。どこで産んでも同様の負担になるようにしてほしい。 ● 出産後の社会復帰の際、未満児保育の受け入れがしっかりしていると収入の見通しが立つ。 ● ひとり親への支援対策。 ● 二人目の出産後に未満時の上の子が退園させられて大変だった。子どもの手のかかる期間は手厚い支援を。 |
| その他 | <p>近隣市町村より良くしてほしいところ（佐久市の売りは医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東御中央公園のような公園周りが危なくない公園があると良い。 ● 望月の空き家が増加しており怖い。有効活用のため、リフォームして売り出すなどの施策。 ● 育児中の者は、時短勤務や土日にも休める育児優遇の企業が増える対策。 |

子育て世代インタビューについて

1 調査の目的

第二次佐久市総合計画後期基本計画の策定に当たり、今後の取組等の検討の参考とするため、子育て世代インタビュー調査を実施する。本調査は、“子育て世代にとって住みやすいまちとはどんなまち？”をメインテーマに、現在の佐久市に対する考えや、子育て世代が重要視するまちの要素などを伺い、若い世代のニーズに応える魅力あるまちづくりに資する施策の企画・立案へ生かしていくことを目的とします。

加えて、今後の子育て支援に関する支援や要望を把握するための機会とします。

2 調査の対象・規模

佐久市保育園保護者会連合会 役員の皆様(6名)

3 調査計画

ア. 調査方法

連合会役員の方々にインタビューを実施

イ. 調査項目

別紙のとおり

子育て世代 インタビュー調査シート

★基本属性に関する事項

| | |
|---------|--|
| 年齢 | 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代以上 |
| 性別 | 1. 男性 2. 女性 |
| いつから在住? | 1. 独身時代から 2. 結婚してから |
| 子どもの数 | 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 |

★まちづくりに関する事項

| |
|---|
| Q1-1. 皆さんが暮らしていく“まち”を選ぶとき、大切にしていることは何でしょうか? Ex. 住み慣れたまち、子育て世代が集まりすぎていないまち、首都圏などに近いまち、まちの雰囲気がいい…etc |
| Q1-2. 皆さんが佐久市に住む理由は何でしょうか? |
| Q1-3. (独身時代から過ごしている、あるいは結婚してからこちらに越してきた皆さんにとって、)佐久市はどんなまちでしょうか? |
| Q1-4. 子育て真っ最中の皆さんにとって、佐久市の住み心地はどのようなのでしょうか? |
| Q1-5. 皆さんの考える、“子育てしやすいまちの指標”は何でしょうか? Ex. 公園・教育施設の数や質、大きな病院があること、自然が豊か、文化施設があってほしい、通勤圏内にあること…etc |

★子育て施策各論に関する事項

| |
|---|
| Q2-1. 利用している子育て施策は何ですか? |
| Q2-2. 出産しやすい環境づくりには、どのような支援があったらいいと思いますか? |
| Q2-3. 子育て施策への評価 (どのような施策に満足していますか? また、どのような支援があるといいと思いますか?) |
| Q2-4. 子育てにおける課題 (子育てにおいて、どのようなことに困っていますか?) |
| Q2-5. 歩道、公園、広場や公共建物において、子育て世代が利用しやすい空間となるよう、どのような配慮や環境が必要だと思えますか。 |

Ex. 子どもが元気にのびのび遊べる環境、多くの人の目が届きやすい環境、ベビーカーで移動できるよう歩道の段差解消、多くの人が集まる施設では、多世代交流ができるようなスペースがほしいなど

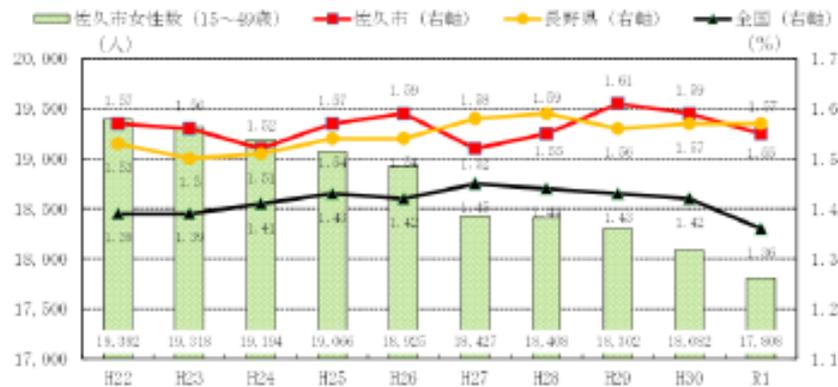
Q2-6. 市民満足度アンケート(R1)における「子育て支援・児童福祉」の満足度は3.27と高い状況ですが、合計特殊出生率は低迷しています。

佐久市が出産や子育てをしやすいまちにしていくために、必要な取組やご提案がありましたら、教えてください。

★「子育て支援・児童福祉」の満足度



★合計特殊出生率の推移



◇利用している子育て施策の例【Q2-1 関連】

- 延長保育事業
- 放課後児童健全育成事業
- 子育て支援短期入所支援事業
- 子育てサロン、つどいの広場
- 一時預かり事業
- 病児・病後児保育事業
- ファミリーサポート事業(佐久市社会福祉協議会)
- 妊婦健診事業
- 乳幼児全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん)

などなど

◇出産しやすい環境づくりの例【Q2-2関連】

- 産休・育休制度の充実
- 産休・育休制度の利用しやすい環境づくり
- 妊娠・出産に関する相談が出来る場の充実
- 市内で身近に受診できる産婦人科医や助産所の充実
- 市内で出産できる施設の充実
- 妊娠・出産時の経済負担の軽減

などなど

◇子育てにおける課題の例【Q2-4 関連】

- 子育てに関する知識や体験を教えてもらえる場が少ない
- 子育ての悩みを気軽に相談できる場が少ない
- 保育施設など子どもを預かってもらえる施設が不足している
- 冠婚葬祭など急用の時に、子どもを一時的に預ける場所が少ない
- 病気の子どもや病気が回復しつつある子どもを預かってもらえる施設が少ない
- 子どもが病気時に、自宅の近くで診てもらえる診療所が少ない
- 休日や夜間に診てもらえる病院が少ない
- 自宅の近くに子どもが遊べる公園が少ない
- 天気の悪い時に、子どもが伸び伸びと遊べる屋内運動場などの施設がない
- 子育て世代が借りやすい賃料で、子育てしやすい住宅がない
- 育児休暇が取りにくい環境がある
- 男性の育児参加が少なく、休暇も取りにくい環境がある
- 子育て中における柔軟な働き方ができにくい環境である

などなど